

# mitsubishi

## 三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機

時間帯別電灯通電制御型

エアールテ- イ仔ピー

形名 SRT-HP374 (タンク容量:370L)

SRT-HP464 (タンク容量:460L)

SRT-HP374D (タンク容量:370L)

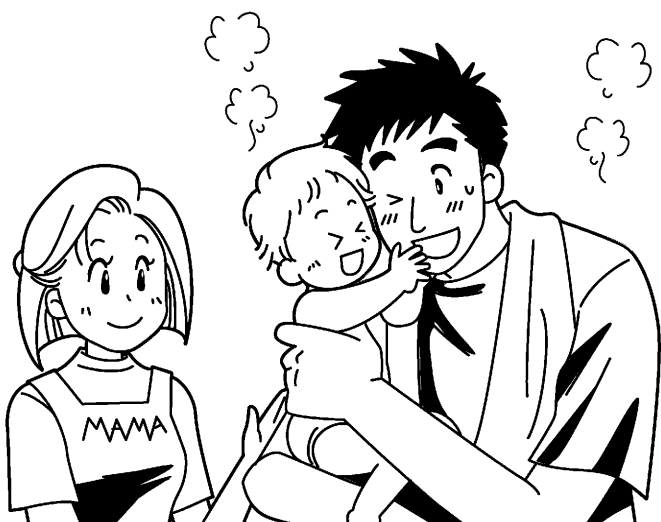
SRT-HP464DM (タンク容量:460L)

(形名はヒートポンプユニットと貯湯タンクユニットのセット形名です。  
なお、セット形名の表示位置は9ページをご覧ください。)

※リモコンは別売です。

形名:RMC-HP4

## 取扱説明書



この給湯機は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店(販売店)に依頼するか、お客さまご自身で電力会社に申請を行ってください。(買い替え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。)

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書、据付工事説明書(チェックリストが入っています。)、据付工事確認書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店(販売店)からお受け取りください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。自家浄水システム等をご使用の場合は販売会社にご相談ください。
- お客さまご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません。
- 試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行ってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- この給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書、保証書などを次の所有者の方へ渡してください。
- この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。  
また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

## もくじ

ページ

### ご使用の前に

特長	3
安全のために必ずお守りください	4
ご使用にあたってのお願い	7
各部のなまえ	8
準備	10
●時刻を合わせる	12
●電力契約モードを選ぶ	13

### 使いかた

わき上げモードを設定する	14
「深夜のみ」のわき上げで使う	16
たくさんお湯を使う(満タンわき増し)	17
「蛇口やシャワー」に行くお湯の温度を決める	18
残湯量の見かた	19
お湯の使用量を見る	20

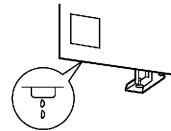
### こんなとき

数日間 わき上げを停止するとき	21
長期間 使用しないとき	22
災害時などにお湯を取り出す	23
凍結防止をする	24
停電したとき	24
断水したとき	25
給湯を止めるとき	25
定期点検(有料)	25
日常のお手入れと点検	26
故障かな?	27
アフターサービス	30
仕様	裏表紙

よくあるご質問(製品の故障ではありません。)

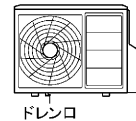
**Q** 貯湯タンクユニットの排水口からお湯(水)や湯気が出ている

**A** わき上げ中は、水がお湯になるときに体積が増える分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。ただし、台所リモコンに「わき上げ中」の表示がないときは弁類の故障が考えられます。



**Q** ヒートポンプユニットのドレン口から水が出ている

**A** 運転中はフィンが結露し、ドレン口から少量(1時間に約1L程度、温度や湿度により変化します。)の水が出る場合がありますが故障ではありません。



**Q** お湯を使っていたら、水が出てきた(リモコンに「残湯なし」表示が出た)

**A** 湯切れです。

この給湯機は、電気代の安い夜間時間帯にお湯をわかしてタンクにためておき、昼間に使うのが基本です。

このため、1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

シャワーや洗いものをするときには、流しっぱなしで使用せず、こまめに止めてください。

来客などでお湯をたくさん使用することが予測される場合は、前日に、わき上げモード(P14)を「多め」または「おまかせ」に設定してご使用ください。また、一時的にお湯がたくさん必要なときは、満タンわき増し(P17)を設定してください。



**Q** 蛇口から出てくるお湯の温度がリモコンで設定した湯温よりも低い

**A** 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなる場合があります。

**Q** 電源を「ON」にしても、お湯が出ない

**A** 給湯機の使い始めなど、タンク内が水の状態で電源を「ON」にしてもすぐにお湯は使用できません。タンク全体がわき上がるまで約8時間かかります。

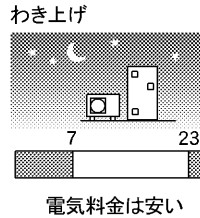
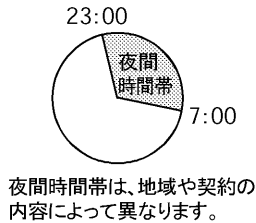
※「Q」は質問を「A」は質問に対する答えを表します。

# 特長

## 大気の熱を使って、経済的にお湯をつくります

この給湯機は、自然冷媒(CO<sub>2</sub>)を使ったヒートポンプによって、自然のエネルギー(大気の熱)を利用して電気で効率良くお湯をわか上げます。

■電気代の安い夜間時間帯にお湯をわかして(わか上げ)タンクにためておき、昼間に使うのが基本です。

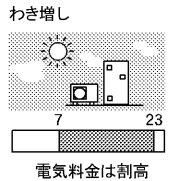


1.「電力契約モード」を選ぶ (P13)

契約により時間帯と料金が異なりますので、契約に合わせて「電力契約モード」を選んでください。

2.わか上げモードを設定する (P14)

ヒートポンプでわか上げるお湯の温度を「多め」「おまかせ」「少なめ」から、お好みを選ぶことができます。



3.「わか増し」もできます (P17)

夜間時間帯でなくても随時お湯をわかすことを「わか増し」といいます。一時的にお湯がたくさん必要になったら、「満タンわか増し」を使います。

## 万一のとき水が使えます

地震などの万一の災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。(P23)



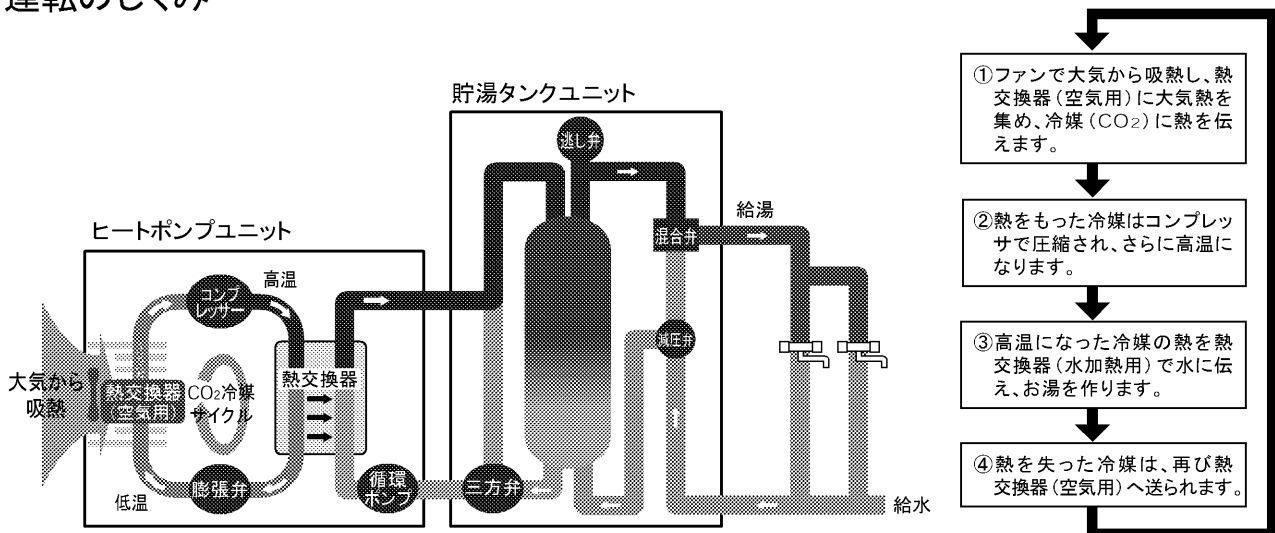
## 快適シャワーの「高圧力型」

この給湯機は高圧力型なのでシャワーも快適。また、2階にも給湯できます。



ご使用の前に

## 運転のしくみ





# 安全のために必ずお守りください

- ご使用前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

(本体の表示)

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

 禁止	 分解禁止	 接触禁止
--	--	--

 アース線接続	 指示にしたがう
--	---

 感電注意	 発火注意
 高温注意	 回転物注意

## 警告

給湯時は湯水混合栓 (P11) に手を触れない



やけど注意



やけどをすることがあります。

使いはじめはやけどに注意する



やけど注意

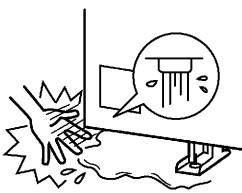


特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

排水時 (P22) はお湯に手を触れない



やけど注意

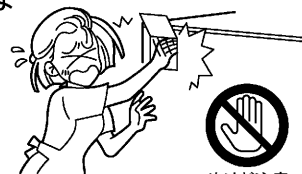


やけどをすることがあります。

逃し弁点検時 (P26) は内部の配管に手を触れない



やけど注意



やけどをすることがあります。

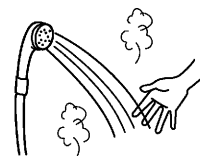
給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う (P18)

確認してから



やけどをすることがあります。浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしないでください。

シャワー使用時は、湯温を指先等で確認する



確認

湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

入浴時は、湯温を指先等で確認する



確認

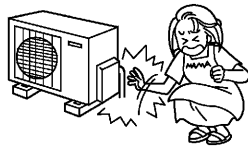
湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

# 警告

ヒートポンプ配管 (P11) に  
手を触れない



やけど注意

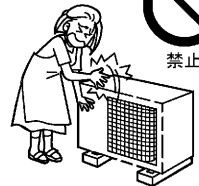


やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンに触ったり、蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない (P9)



禁止

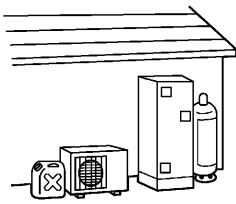


けがをすることがあります。

近くにガス類や  
引火物を置かない



禁止



発火・火災になることがあります。

異常 (こげ臭いなど) 時は、漏電遮断器の電源レバー (P9) を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口」へ連絡する



異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

前面カバーを開けない (P9)



分解禁止



開けると、感電することがあります。

改造をしない

(修理技術者以外の方は)  
分解・修理をしない



分解禁止



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

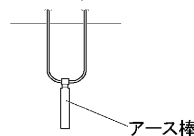
アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。



アース工事

ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニットからのアース線



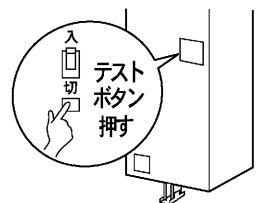
アース棒

アースの取付けは、据付工事店へお問合せください。

漏電遮断器の動作を確認する (P26)



動作確認

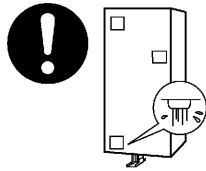


故障のまま使用すると、感電することがあります。

# 安全のために必ずお守りください(つづき)

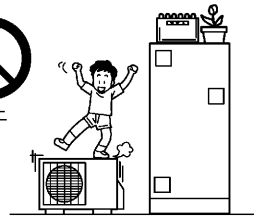
## ⚠ 注意

給湯機を長期間使用しない場合など漏電遮断器の電源レバーを「切」にするときは、機器と配管内の水を確実に抜く( P22 )



配管が凍結し、水漏れすることがあります。また、水質の変化により、健康へ影響することがあります。

機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない



事故・やけどの原因になります。

そのまま飲用しない

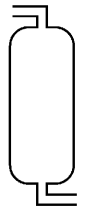


長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。



電源を入れるときは、本書の手順通りを行う( P10 )



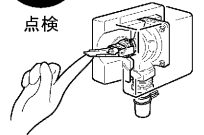
満水確認

機器に水がない状態で電源を入れたままにすると、故障の原因になります。

逃し弁の点検をする( P26 )

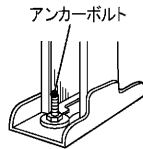


点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。また、水漏れにより電気代、水道代が高くなったり、家屋などへの不具合が発生することがあります。



点検

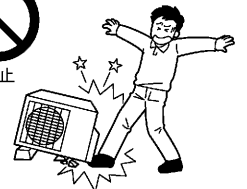
貯湯タンクユニットの脚(3カ所)がアンカーボルトで固定されているか確認する



固定されていないと、地震のとき、機器が倒れてけがをすることがあります。

確認

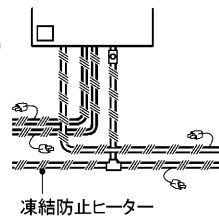
ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない



禁止

ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

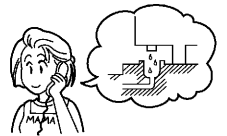
凍結防止対策の確認をする( P24 )



凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

凍結防止ヒーター

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する



確認

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。

タンクの熱湯を直接排水しない( P22 )

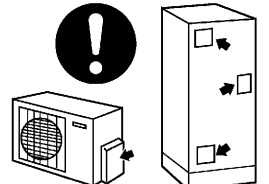


やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。



禁止

操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる( P9 )



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

# ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

## お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

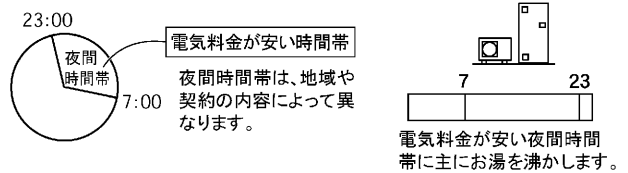
- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

## 夜間時間帯のご使用について

この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。（「深夜のみ（P16）」や「少なめ（P14）」のご使用のときは、満タンまでお湯がわかかない場合があります。）



## リモコンの時刻を確認する

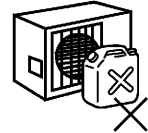
リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。（P12）



時刻がずれていると、タンク内をわき上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

## 機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は、取り除いてください。（性能低下や故障の原因）



## 機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となります。

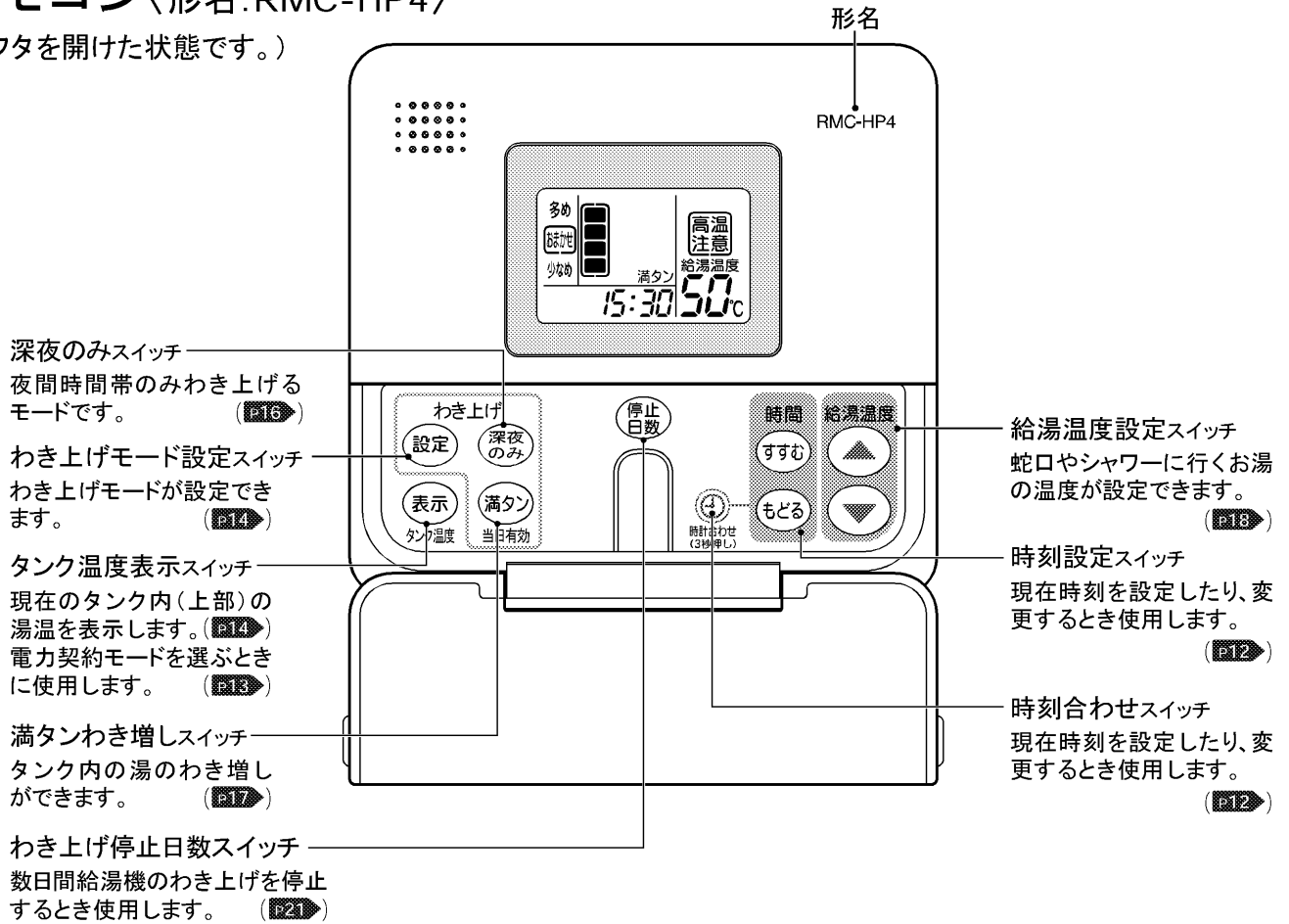
- 最低気温がマイナス10℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）に設置されている場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

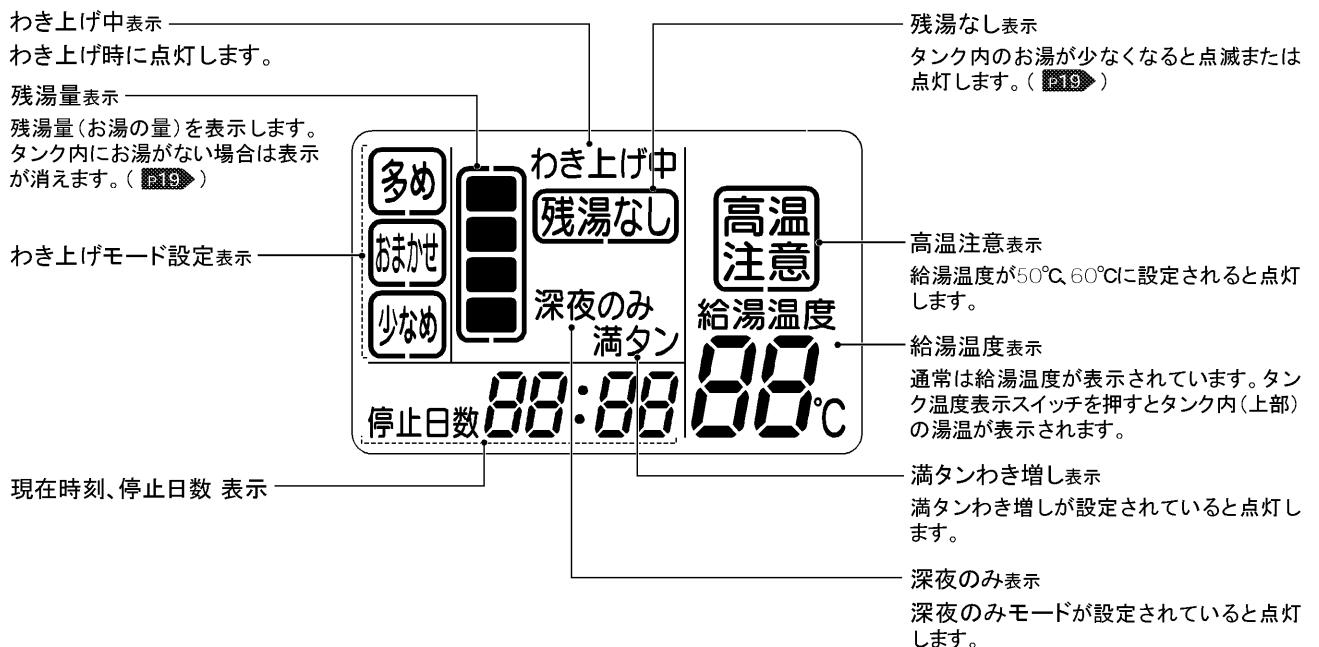
# 各部のなまえ

## リモコン〈形名:RMC-HP4〉

(フタを開けた状態です。)



## 表示部 (説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。)



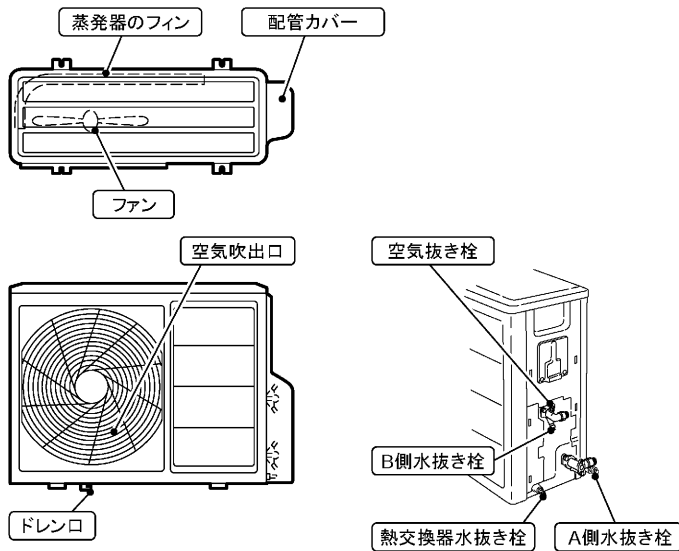
**お願い** ● リモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

**お知らせ** ● リモコン表示部のバックライトの点灯は、スイッチを押してから約1分間です。



# 各部のなまえ (ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット)

## ヒートポンプユニット

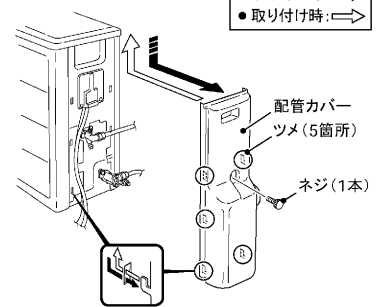


運転中はフィンが結露し、ドレン口から少量(1時間に約1L程度)\*の水が出る場合がありますが故障ではありません。  
※温度、湿度により変化します。

### 配管カバーの取り外し方法

- (1) ネジ(1本)を外す
- (2) 配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

ヒートポンプユニット



### 警告

ヒートポンプ配管に手を触れない  
(やけどの原因)

ご使用の前に

## 貯湯タンクユニット

### 逃し弁 操作窓

逃し弁の点検をするときに使用します。



#### 逃し弁

わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力(190kPa)以下にします。



#### 減圧弁

タンクへの給水圧力(170kPa)を保ちます。

### 排水栓 操作窓



#### 排水栓

タンクのお湯を排水するときに使用します。(P22)

#### 非常用 取水栓(水抜き栓)

非常の際には、タンクの湯(水)を取出して生活用水として利用できます。(P23)

### 排水口

逃し弁、排水栓からのお湯(水)や湯気が出ます。  
「わき上げ中」や「わき増し中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

### 上部振れ止め金具

2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

### タンク

### 操作カバー

### 漏電遮断器

### 電源レバー

電源を「入」・「切」します。

### テストボタン

漏電遮断器の動作点検 (P26)

### 前面カバー

### 形名・製造番号表示

製品の形名・製造番号などが記載されています。

### 脚

### 脚部カバー(別売)

左右のねじで取付け・取外しができます。(P22)

### ドレンホース

万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

# 準備

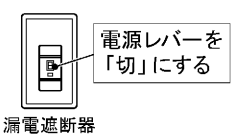

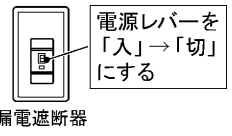
使い始めは、次の手順で操作します。ただし、リモコンが点灯していること、貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げて排水口から水が出ることを確認できる場合は、手順4「機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）の空気を抜く」から確認してください。

タンクの水抜きをした場合は必ず次の手順で操作します。また、タンクの水抜きをせずに1カ月以上給湯機を使用しなかった場合も、いったんタンクの水抜きをして（P22）から次の手順を行なってください。

※必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

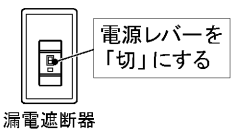
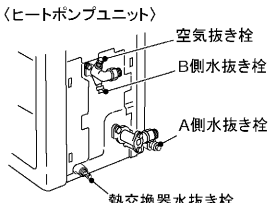
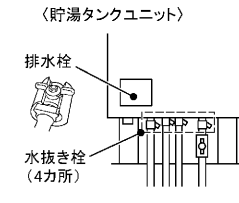
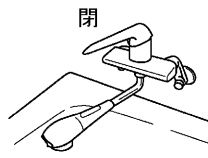
方法がわからない場合は、据付工事を行なった販売店・工事店、または、当社ご相談窓口（P31）へご相談ください。

## 1. 貯湯タンクユニット内を初期状態にする

<p>(1) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は「切」にする</p>  <p>電源レバーを「切」にする</p> <p>漏電遮断器</p>	<p>(2) 200V電源ブレーカーを「入」にする</p> 	<p>(3) 漏電遮断器の電源レバーを約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする</p>  <p>電源レバーを「入」→「切」にする</p> <p>漏電遮断器</p>
--	---	---

●手順(3)で30秒以上「入」にし続けしないでください。  
（貯湯タンクユニット内に水がない状態で「入」にし続けると、故障やエラー発生の原因となります。）

## 2. 以下のことを確認する

<p>(1) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は「切」にする</p>  <p>電源レバーを「切」にする</p> <p>漏電遮断器</p>	<p>(2) ヒートポンプユニットの水抜き栓（3カ所）、空気抜き栓（1カ所）、貯湯タンクユニットの排水栓、水抜き栓（P22）が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）</p> <p>（ヒートポンプユニット）</p>  <p>空気抜き栓 B側水抜き栓 A側水抜き栓 熱交換器水抜き栓</p> <p>（貯湯タンクユニット）</p>  <p>排水栓 水抜き栓（4カ所）</p>	<p>(3) 蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する</p>  <p>閉</p>
--	---	--

## 3. 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にする

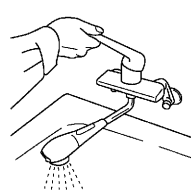
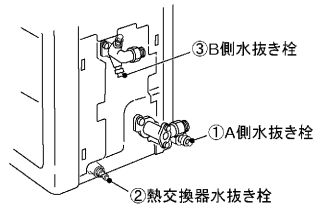
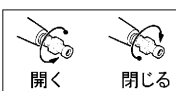
<p>(1) 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる</p>  <p>上げる</p>	<p>(2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する</p>  <p>ひらく</p>	<p>(3) 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを下げる</p>  <p>下げる</p> <p>●タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安：約30分）</p>
---	---	---

### ⚠ 注意

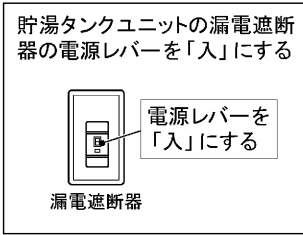
機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にしてから電源を入れる  
（故障の原因）

- タンクが満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

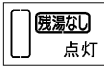
## 4. 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）の空気を抜く

<p>(1) 蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開き（1カ所）、空気が混ざらなくなったら閉じる</p> 	<p>(2) ヒートポンプユニットの水抜き栓（3カ所）を開く</p> <p>●A側水抜き栓→熱交換器水抜き栓→B側水抜き栓の順に開き、空気が混ざらなくなったら閉じてください。</p> <p>＜順序＞</p> <p>①A側水抜き栓 ↓ ②熱交換器水抜き栓 ↓ ③B側水抜き栓</p>  <p>③B側水抜き栓 ①A側水抜き栓 ②熱交換器水抜き栓</p>  <p>開く 閉じる</p>
--	--

5.電源を入れる

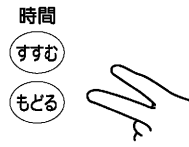


- 電源を入れると、屋間でもすぐにわき上げを開始します。(リモコンの残湯量表示は右図参照)
- 「深夜のみ」モード (P16) が設定されていると、屋間にはわき上げを行いません。夜間時間帯になるとわき上げを行います。すぐにわき上げを行うときは、手順8終了後、満タンスイッチを押してください。



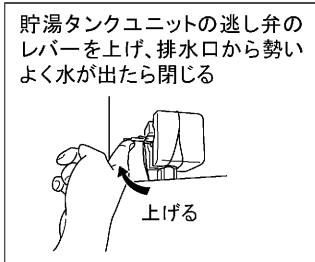
6.ヒートポンプ配管の空気を抜く(強制運転)

リモコンの「時間すすむ」スイッチと「時間もどる」スイッチを同時に3秒以上押す



- 強制運転はヒートポンプ配管内の水を強制的に循環させるものでわき上げは行いません。
- 強制運転中はリモコンの表示部に「Air」が表示されます。
- 強制運転は約20分で終了しますので必ず終了するまで行なってください。途中で終了する場合はもう一度リモコンの「時間すすむ」スイッチと「時間もどる」スイッチを同時に3秒以上押してください。
- 停止日数が設定されているときは、強制運転を行いません。

7.貯湯タンク内の空気を抜く



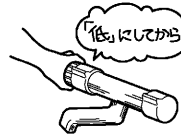
8.リモコンで初期設定を行う

- (1)時刻を確認する (P12)
- (2)電力契約モードを選ぶ (P13)
- (3)わき上げモードを設定する (P14)

※その他の設定(給湯温度など)も初期状態に戻っていることがありますので確認してください。

9.お湯を使う

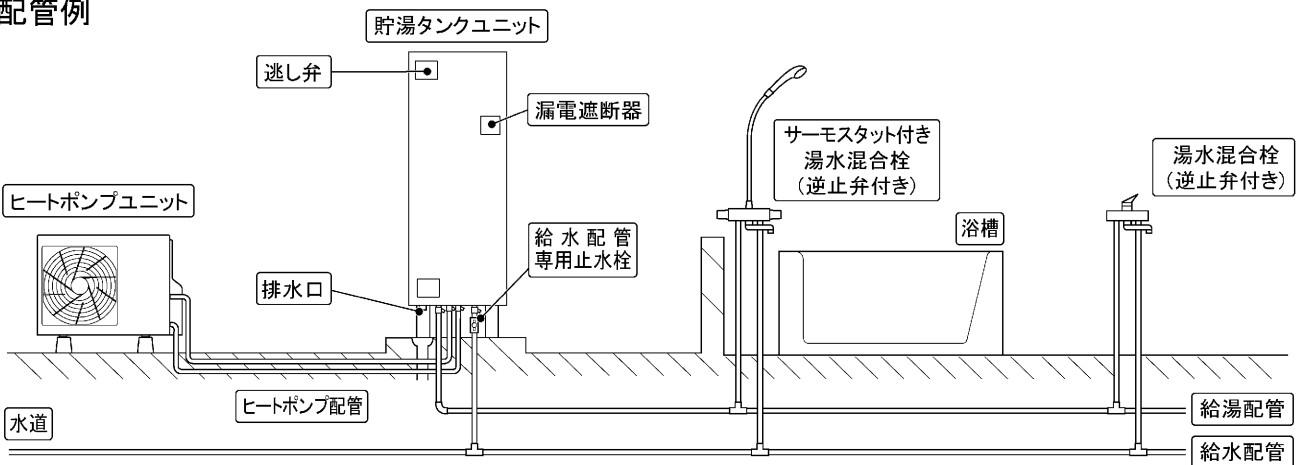
約8時間で満タンまでわき上がります。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。



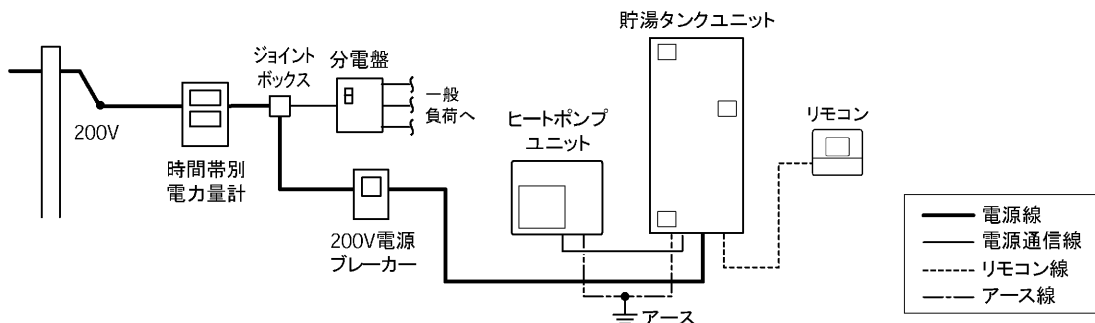
警告

使いはじめは、やけどに注意する  
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

■配管例



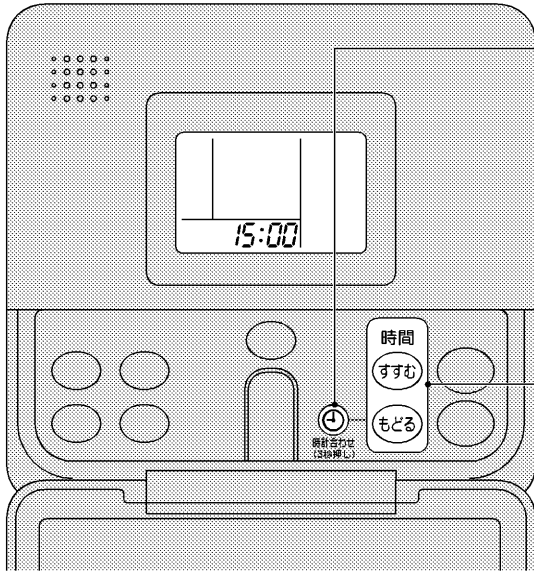
■配線例(時間帯別電灯契約専用)



# 時刻を合わせる

給湯機を使うためには、まずリモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。  
時刻が正確に合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

リモコン

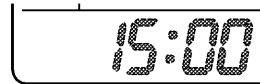


必要な箇所を表示してあります。

1



表示部



(例) 午後3時

2

表示部が点滅中に



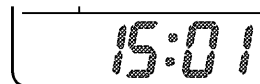
を押して  
時刻を合わせる

すすむ を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。

もどる を押すと1分間ずつ、表示部の数字が戻ります。

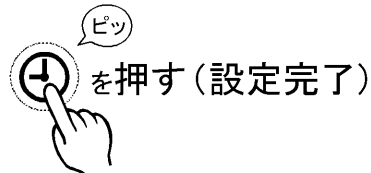
(スイッチを押し続けると、表示が早く変わります。)

表示部

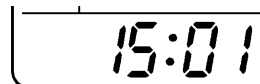


(例) 午後3時1分

3



表示部



約10秒間経過すると⊕を  
押さなくても時刻設定が完  
了します。

## お願い

● 時計の時刻は停電などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。また、1カ月に一度は時刻が合っているかご確認ください。

● 表示部に「00:00」が点滅している場合は、必ず時刻を合わせてください。わき上げできません。

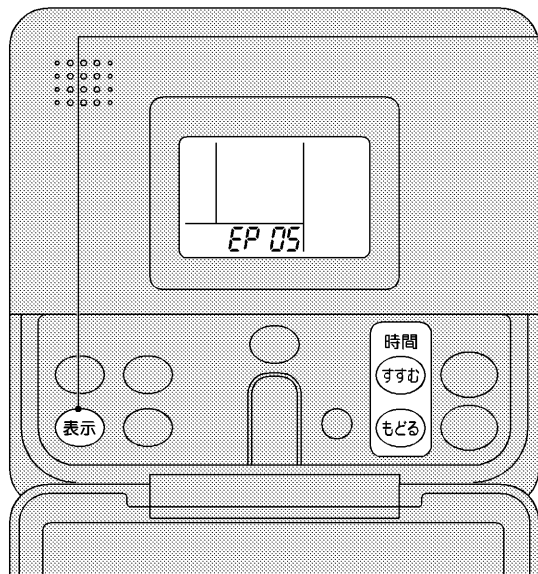
## お知らせ

● 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。

# 電力契約モードを選ぶ

時間帯別電灯契約の種類によって、夜間時間帯や安価な時間帯が異なります。  
電気料金を抑えるため、必ずご使用の契約に合う電力契約モードを選んでください。

リモコン



必要な箇所を表示してあります。

お買い上げ時は…表示「01」

- 1** **表示** を3秒以上押す

表示部  
10 24  
「昨日の給湯使用量」が表示されます。(E20)
- 2** 「昨日の給湯使用量」が表示中に **表示** を3回押す

表示部  
EP 01  
電力契約モード表示になります。
- 3** **時間 すすむ もどる** を押して電力契約モードを選ぶ

表示部  
01 02 … 09 10  
表示が切り替わります。
- 4** **表示** を押す

表示部  
EP 05  
(例)電力契約モード05設定完了です。  
時刻表示に戻ります。

ご使用の前に

## 電力契約モードの内容(平成17年4月現在)

01	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京電力:電化上手●関西電力:はびeタイム●沖縄電力:Eeらいふ</li> </ul>	06	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東北電力:やくりナイト10、やくりナイトS●東京電力:おトクなナイト10</li> <li>●北陸電力:エルフナイト10●九州電力:よかナイト10</li> </ul>
02	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中部電力:Eライフプラン</li> </ul>	07	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中国電力:エコノミーナイト</li> </ul>
03	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中国電力:ファミリータイム</li> </ul>	08	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯22時~6時)</li> </ul>
04	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北陸電力:エルフナイト10プラス●九州電力:電化deナイト</li> </ul>	09	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯23時~7時)</li> </ul>
05	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東北電力:やくりナイト8●東京電力:おトクなナイト8●北陸電力:エルフナイト8</li> <li>●中部電力:タイムプラン●関西電力:時間帯別電灯</li> <li>●四国電力:電化deナイト、得トクナイト●九州電力:時間帯別電灯</li> <li>●沖縄電力:時間帯別電灯</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯24時~8時)</li> </ul>

契約している電力制度の内容については、各電力会社にお問い合わせください。

**お知らせ** ●手順4で10秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されている電力契約モードで設定されます。

# わき上げモードを設定する

給湯機のわき上げ動作を「わき上げモード」を選定して設定します。

「わき上げモード」は下記の3つから選べます。使い始めは、湯切れ防止のため「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。

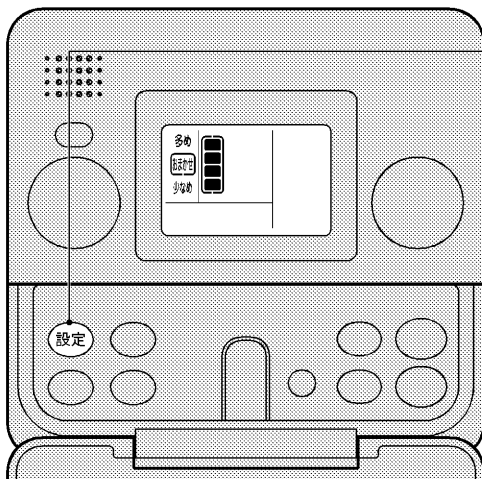
表示 (モード)	わき上げ温度(目安) (本ページ「タンク内の湯温を 表示する」の「お知らせ」参照)	わき上げ動作内容	注意点
<b>多め</b>	約 90℃	● 最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。	● お湯が少なくなると、昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。(注)
<b>おまかせ</b>	約 75℃～約 90℃	● 季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	
<b>少なめ</b>	約 65℃～約 80℃	● 過去の使用湯量を学習し、最小限のわき上げを夜間時間帯に行います。	● タンク全量をわき上げないことがあります。(学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。) ● お湯が少なくなると、昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。(注) ● わき上げ温度が低い場合、給湯温度設定に制限が発生することがあります。

注 運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。

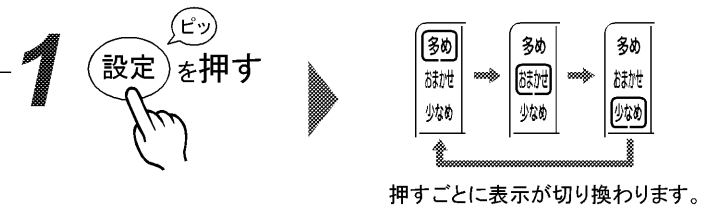
## お知らせ

- 外気温度が5℃未満の場合、わき上げ目標温度の設定値を「おまかせ:約80℃～約85℃、多めで深夜のみモード時:約85℃」に自動的に調整します。
- タンク内の残湯量が多い場合、わき上げ温度が低くなる場合があります。

## モコン



必要な箇所を表示してあります。



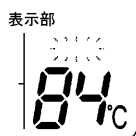
**2** スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

お買上げ時は …おまかせ

設定できるモードは …多め／おまかせ／少なめ

## タンクの内湯温を表示する

貯湯タンクユニットのタンク内上部の温度を表示します。



「給湯温度」が消え、タンク内の湯温表示になります。約10秒間表示後、給湯温度を表示します。

## お知らせ

- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。(ヒートポンプ配管が、断熱材20mm、外気温度マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃程度です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、この条件でタンクに貯まるお湯の温度は、わき上げ温度よりも10℃程度 低下することがあります。)
- タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。(通常、温度の低下は、2時間に約1℃程度ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。)
- わき上げ中は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

## 〈わき上げモード設定の変更〉

- 「おまかせ」は約1週間で給湯機が使用湯量を学習し、使用湯量に応じたわき上げをするようになります。
- 翌日、いつもより多くお湯を使う予定の時や、「おまかせ」モードでお湯が不足する時は「多め」に設定してください。
- おすすめのわき上げモード設定の目安は、下記のように、「過去1週間の1日あたりの平均使用湯量( P20 )」を使って知ることができます。

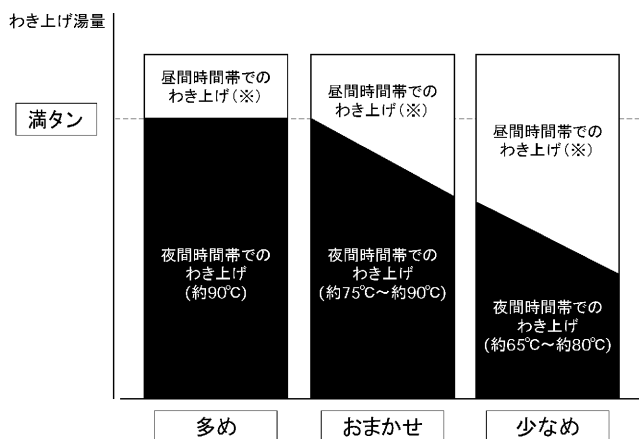
### ■おすすめのわき上げモード設定の目安(例)

過去1週間の1日あたりの平均使用湯量( P20 )	翌日のお湯の使い方	おすすめのわき上げモード	
440L以上(注)	いつもより多く使う予定	多め	翌日以降いつもどおりの使い方をする場合は、変更前のモードに戻してください。 (ご使用量に合わせて効率良くわき上げを行うためです。) 注. 来客などでお湯をたくさん使用することが予測される場合は、前日から「多め」に変更しておく、湯切れしにくく、経済的にお湯をわかすことができます。
	いつもと同じ		
440L未満(注)	いつもより多く使う予定	おまかせ	
	いつもと同じ	少なめ	

(注)タンク内のお湯の使用量とは異なります。( P20 参考 参照)

## 〈各わき上げモードの運転イメージ〉

- 各わき上げモード(多め・おまかせ・少なめ)のわき上げ量は、下図のイメージとなります。



※夜間時間帯にわき上げたタンク内のお湯がなくなる前に、湯切れ防止のため昼間時間帯に追加でわき上げを行います。(運転モード設定が「深夜のみ」の場合、「夜間時間帯でのわき上げ」のみとなり、昼間時間帯でのわき上げは行いませんが、通常モードよりも湯切れしやすくなります。)

### お願い

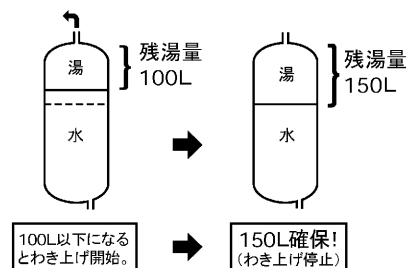
- 給湯使用量が多いご家庭で少なめモードを設定した場合、左図のように昼間時間帯でのわき上げが増えるため、同じ給湯使用量で「おまかせモード」で使用した場合よりも電気代が高くなったり、夜間時間帯のわき上げ量が不足して湯切れすることがありますので、使用量の多いご家庭では「少なめモード」でご使用にならないでください。

## 〈湯切れ予防のための自動わき上げについて〉

- 運転モードが「深夜のみ」( P16 )に設定されていないときは、お湯が少なくなると湯切れを予防するため、ある一定の残湯量を確保するためのわき上げを行います。お湯をたくさん使うなどで、昼間時間帯にこの自動わき上げをたくさん行くと、昼間時間帯の電気料金となるため、電気代が高めになることがあります。

例えば、お湯を使って残湯量が100L以下になると自動的にわき増しを行い、残湯量150Lを確保します。

※わき上げを開始する残湯量はわき上げモード設定や時間帯によって変化します。(本例は、一例です。)



# 「深夜のみ」のわき上げで使う

「深夜のみ」とは、わき上げを行う時間帯を夜間時間帯のみにするモード設定です。昼間時間帯のわき上げをとめたい時にセットすると便利です。「深夜のみ」モードに設定すると、電気代の安い夜間時間帯のみわき上げるので節約効果がありますが、夜間にわき上げたお湯を使い切ってしまうとタンク内のお湯がなくなり、お湯が使えなくなります。また、わき上げ中の夜間にたくさんお湯を使うと、夜間に貯えられるお湯の量が少なくなり、その分湯切れしやすくなります。

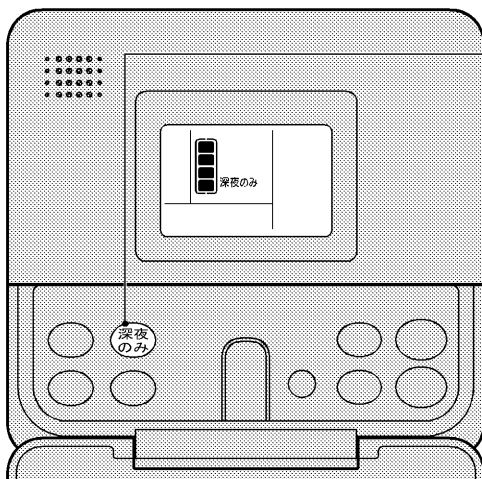
モード	表示	動作内容と注意点
通常モード		過去の使用湯量からお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間時間帯にも自動でわき増しを行います。おおすすめのモードです。深夜のみモードに比べ、昼間時間帯でもわき増しを行うため、電気代が高めになることがあります。
深夜のみモード		電気代の安い夜間時間帯のみわき上げるモードです。ただし、夜間時間帯にわき上げたお湯以上に昼間使うと、タンク内のお湯がなくなり、お湯が使えなくなります。

「深夜のみモード」を設定する場合の目安

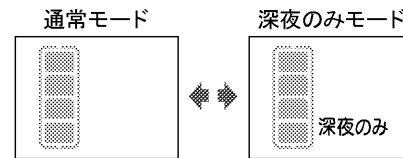
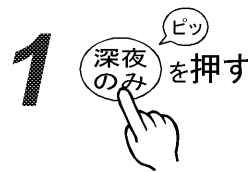
「通常モード」でご使用いただき、お湯がいつもあまるなど、使用量が少ない場合（残湯量表示部に「残湯なし」が表示（点滅または点灯）されない場合）がご使用の目安です。「残湯なし」が表示される場合は、「通常モード」でご使用ください。

※上記の内容は目安ですので、深夜のみモードで使用して湯切れする場合は通常モードで使用してください。

リモコン



必要な箇所を表示してあります。



「深夜のみ」が点灯  
押すごとに表示が切り換わります。

2 スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

お買上げ時は …通常
設定できるモードは …通常 / 深夜のみ

## お願い

- 深夜のみモードを設定すると、お湯が少なくなっても昼間にはわき上げを行いませんので、夜間時間帯にわき上げたお湯以上に昼間使うと湯切れしてお湯が使えなくなります。万一、湯切れした場合は、満タンわき増しをご利用ください。

## お知らせ

- 深夜のみモードを設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のためヒートポンプユニットが動作することがあります。



# たくさん お湯を使う (満タンわき増し)

「わき増し」とは、お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。

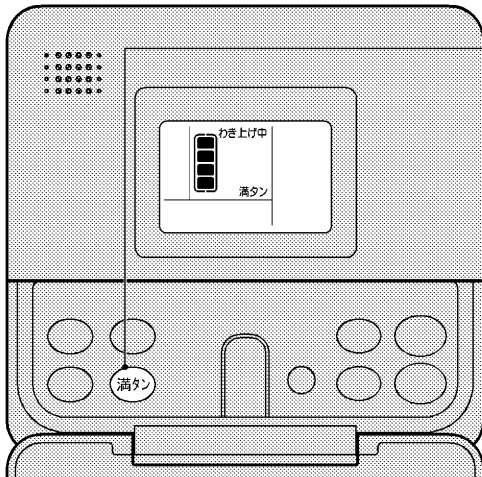
来客などでたくさんのお湯が必要なときは「満タンわき増し」を設定してください。

一度設定すると、設定したその日(昼間時間帯<sup>注</sup>)は何回でもタンク全体のわき増しを行います。

満タンわき増しは、夜間時間帯<sup>注</sup>()になると自動的に解除されます。

注. 昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。

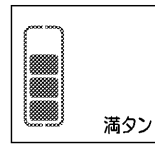
リモコン



必要な箇所を表示してあります。



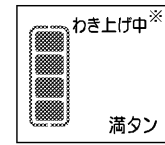
表示部(設定時)



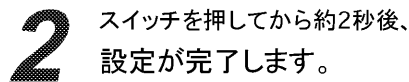
「満タン」が点灯

お湯が約50L減ると  
わき増し開始


表示部(わき増し時)




「わき上げ中」が点灯



解除するとき

もう一度  を押す ▶ 「満タン」が消灯

## お知らせ

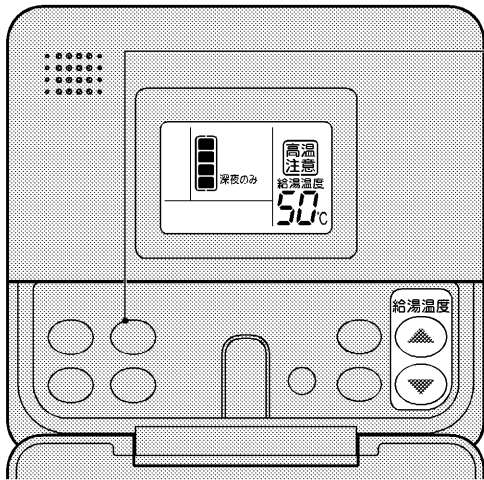
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- わき増しの場合も、「わき上げモードを設定する()」で設定した温度にわき上げます。
- 「深夜のみ」モード設定時でもわき増しを行えます。



# 「蛇口やシャワー」に行くお湯の温度を決める

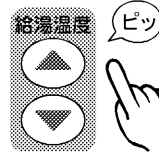
家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）へ行くお湯の温度を決めてください。

リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1



を押して  
温度を設定する

▲を押すと温度が高くなります。

▼を押すと温度が低くなります。

2

スイッチを押してから約2秒後、  
設定が完了します。

お買上げ時は …50°C(給湯温度)

設定できる温度は…35°C～48°C(1°C刻み) / 50°C / 60°C

## ⚠ 警告

給湯温度を変更すると、すべてのお湯の温度（シャワーなど）が変わります。他の人が使っていないか十分に注意してください。（やけどの原因）

## お願い

●サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を使用するお湯の温度より約10°C以上高く設定してください。

## お知らせ

- わき上げモードが「少なめ」の場合、タンク内の湯温によっては、設定より低い温度のお湯が出る場合があります。
- 給湯温度を50°Cまたは60°Cに設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。（60°Cに設定した場合は警告音も鳴ります。）
- 給湯口から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなる場合があります。
- 使用する混合水栓によっては、シャワー出湯量が少なくなることがあります。その場合は給湯温度の設定を60°Cにし、水と混ぜてご使用ください。

# 残湯量の見かた

この給湯機は、タンク内の残湯量(45°C以上のお湯の量)をリモコンに表示します。  
 お湯の使用状況に合わせて残湯量表示は下表のように変化します。  
 (お湯を使うとお湯の量は減り、わか上げを行うとお湯の量は増えていきます。)

残湯量表示									
お湯の量	460L機種 (ほぼ満タン)	410L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 410L未満	150L以上 250L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
	370L機種 (ほぼ満タン)	320L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 320L未満	150L以上 250L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
お湯の増減									

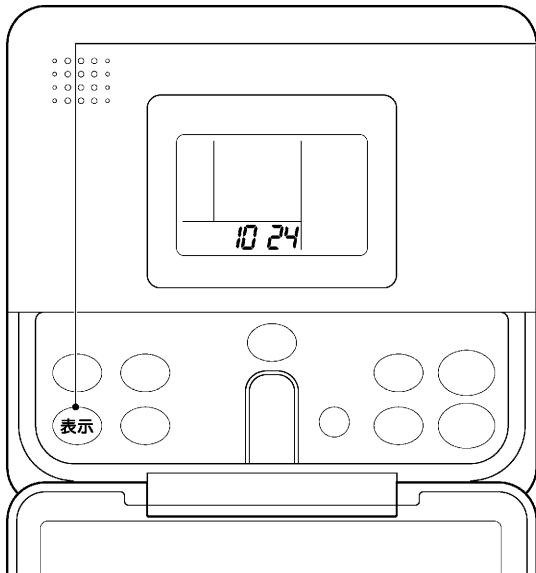
- お知らせ**
- 残湯量表示の「」は45°C以上のお湯を表しています。
  - 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。(P27)

# お湯の使用量を見る

この給湯機は、お湯の使用量(昨日\*の給湯使用量、過去1週間の1日あたりの平均使用湯量)を調べることができます。

※ここで記載する「昨日」とは、「昨日の夜間時間帯終了時間～当日の夜間時間帯終了時間」を表します。  
夜間時間帯終了時間は電力契約により異なります。(P13)

リモコン

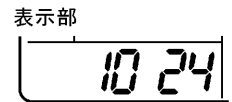


必要な箇所を表示してあります。

**1** **表示** を3秒以上押す



「昨日の給湯使用量」が表示されます。



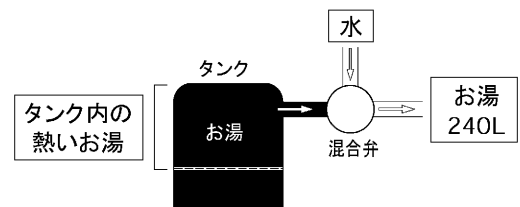
**2** **表示** を押すごとに、

「昨日の給湯使用量」→「過去1週間の1日あたりの平均使用湯量」→「電力契約モード」と表示がかわります。

下表の各表示画面で、約10秒間スイッチ操作がない場合は、時刻表示に戻ります。


機能	表示例	表示の意味
昨日の給湯使用量	10 24 機能番号 ①	昨日の給湯使用量(エネルギー)を43°Cの給湯量で表示します。 表示された数字に10をかけた数値が使用量(L)の目安です。 ①240(L)
未使用	20 00	未使用
過去1週間の1日あたりの平均使用湯量	30 50 機能番号 ②	過去1週間、給湯で使用した給湯使用量(エネルギー)の1日の平均値を43°Cの給湯量で表示します。 表示された数字に10をかけた数値が使用量(L)の目安です。 ②500(L)
電力契約モード	EP 01	P13 参照

**参考** ● 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24(240L)」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。



# 数日間 わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。


お買上げ時の設定 …なし
設定できる範囲 …2日～15日／連続停止 (1カ月以上使用しない場合  )

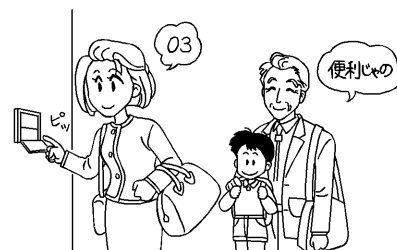
## わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

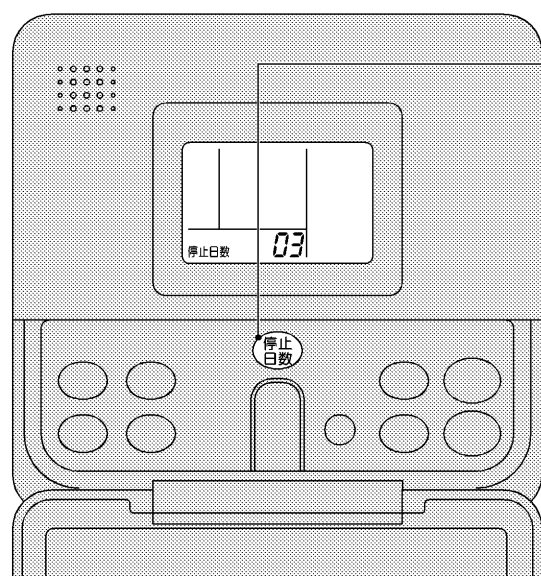
- 出発日(10月1日)に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。  
1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。  
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。
- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。  
帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉

まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。  
その日にお湯を使用するときは、満タンわき増し()を使用してください。



## リモコン



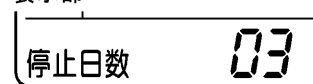
必要な箇所を表示してあります。

1

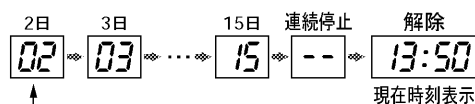


(設定する日数が表示される)まで押します。

表示部



停止日数を押すごとに表示部の停止日数が進みます。  
(スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。)



解除するときは「現在時刻表示」にします。

2

スイッチを押してから約2秒後、  
設定が完了します。

解除するとき…「現在時刻表示」になるまで、停止日数スイッチを押す

## お知らせ

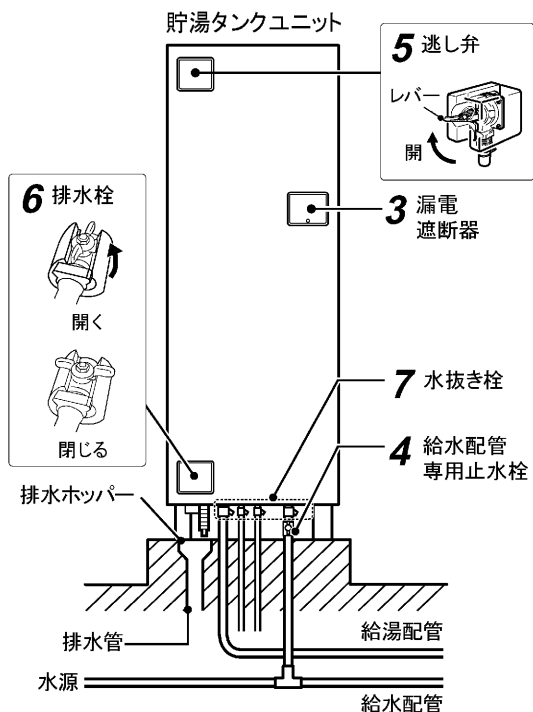
- 連続停止 ( -- ) を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。  
(連続停止 ( -- ) が表示されているときは除く。)
- 停止期間中に下記の動作または設定を行うと自動解除されます。
  - 現在時刻の設定
  - 満タンわき増しの設定

# 長期間 使用しないとき

長期間(1か月以上)使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機および配管凍結防止ヒーター等の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。水抜きを行わないと凍結により機器が破損することがあります。

## ⚠ 注意

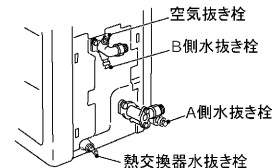
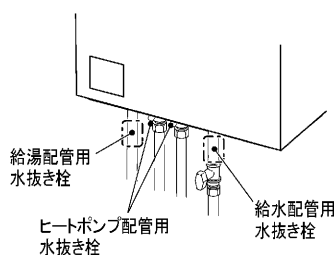
- 長期間(1か月以上)使用しないときは、タンクの水を抜く(水質変化による健康への影響)
- タンクの熱湯を直接排水しない(やけど、排水管などの破損の原因)



- 1 前日から準備できる(タンクのお湯を抜くことがわかっている)場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する  
(あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。)
- 2 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す  
(熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。)
- 3 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にする
- 4 給水配管専用止水栓を閉じる  
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 5 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる  
タンクへ空気を取り入れます。
- 6 貯湯タンクユニットの排水栓を開く  
タンクの水(お湯)を抜きます。  
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。  
水が抜けるまでに約40分～50分かかります。
- 7 タンクの排水が終わったら、機器の水抜き(下図に示す各ユニットの水抜き栓、空気抜き栓を開く)をする  
配管の水(お湯)を抜きます。容器などで受けて排水します。

〈貯湯タンクユニット〉

〈ヒートポンプユニット〉



水抜き栓・空気抜き栓の開きかた

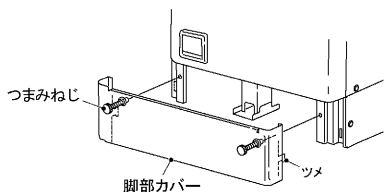


## ⚠ 警告

排水時は、やけどに注意する

## 脚部カバー(別売)の外し方

- (1) つまみねじ(2本)をゆるめる
- (2) 脚部カバーを上方にずらしてツメを外し、手前に引く



- 8 手順7(各ユニットの水抜き栓、空気抜き栓を開く)完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、空気抜き栓、排水栓を閉じる

**お願い** ● 排水直後に逃し弁を閉じないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。(逃し弁は再び使用するときまで閉じないでください。)

## 再び使用するとき

排水栓、水抜き栓、空気抜き栓が閉じていることを確認してから、準備(P10)の手順を行なってください。

# 災害時などにお湯を取り出す

地震などの万一の災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。  
(操作方法は、本体の前面カバーにも貼ってあります。)



**準備するもの**

■容器(バケツ、たらい)、タオル

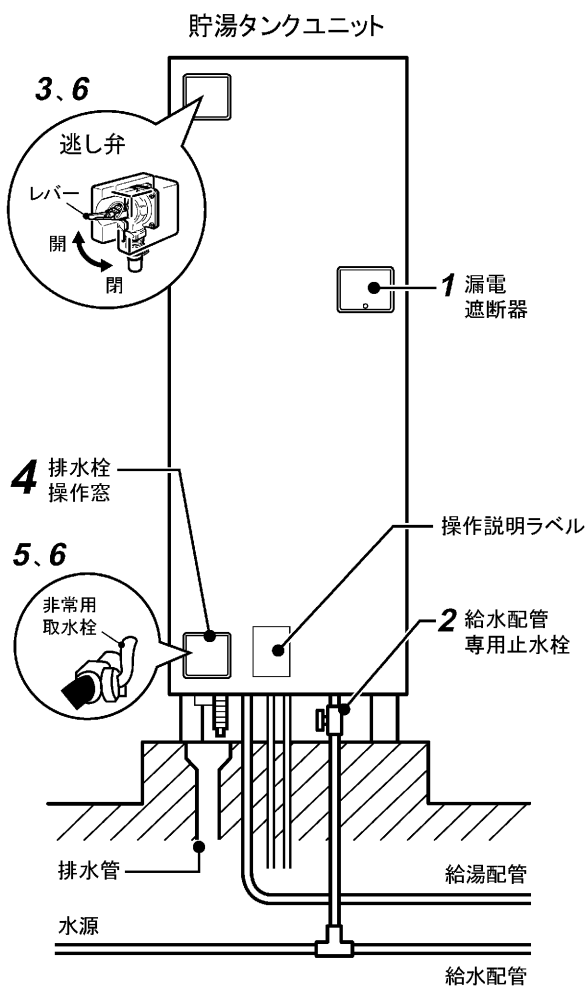
バケツ      たらい      タオル

**お知らせ**

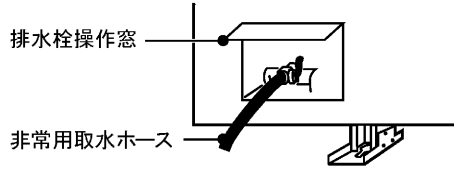
- 非常用取水ホースは、本体の内部(前面カバーに沿って)に収納されています。

**お願い**

- 取水時は、他のホースが抜けないように注意してください。



- 1** 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にする  
電気の供給を停止します。
- 2** 給水配管専用止水栓を閉じる  
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 3** 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる  
タンクへ空気を取り入れます。
- 4** 非常用取水ホースを排水栓操作窓から出す
- 5** 非常用取水栓を開く  
タンクの水(お湯)を取り出します。  
バケツなどで受けます。



**警告**  
取水時は、やけどに注意する  
取水中、急に熱湯(最高90°C)が出る場合があります。

〈取水が終わったら〉

- 6** 非常用取水栓を閉じる

**再び使用するとき**  
逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、準備(P10)の手順を行なってください。

こんなとき

# 凍結防止をする

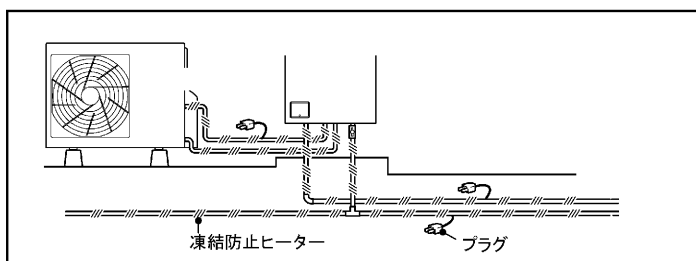
寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる、凍結予防運転を設定する）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬季は本体周囲温度が $0^{\circ}\text{C}$ 以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

## ⚠ 注意

- 凍結防止対策の確認をする
- 給湯機の電源や凍結防止ヒーターの電源を切る場合は、給湯機内および配管内の水をすべて抜く（手順 **P22**）凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

## ● 凍結防止ヒーター（市販品）を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときには、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



## お願い

- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

## お知らせ

- ヒートポンプ配管の凍結予防について  
貯湯タンクユニットとヒートポンプユニット用の凍結予防のため、タンク内にお湯がない場合、ヒートポンプユニットを動作させて凍結予防運転を行います。（運転停止日数が設定されている場合や運転モードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結予防のため動作します。）

# 停電したとき

この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。

ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

- 停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後すぐに、わき上げを行います。

## お願い

- 必ず時刻を確認してください。時刻が合っていない場合は正確な時刻に合わせて直してください。（**P12**）正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。



# 断水したとき

断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓 (P11) を閉じてください。  
(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)

閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニット内のストレーナー一部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

# 給湯を止めるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、給水配管専用止水栓 (P11) を閉じてください。

**お願い** ● パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

# 定期点検 (有料)

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3~4年に1度定期点検 (有料) を行なってください。定期点検については、据付工事店 (販売店) または「三菱電機 修理窓口」 (P30) へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

## ● 定期点検の主な内容

項目	内容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品 (配線、導通、動作の確認)、弁類 (減圧弁、逃し弁) などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃 (沈殿物の除去など)、貯湯タンクユニット内のストレーナーやヒートポンプ配管用ストレーナーの掃除

## ● 消耗部品

以下の部品は消耗部品です。

減圧弁   逃し弁   混合弁   センサー類   パッキン類   バイパス弁

**お願い** ● 上記部品の交換時は、当社純正部品をご指定ください。

# 日常のお手入れと点検

## 日常のお手入れ

### ■時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。(P12)

### ■リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



お願い

●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

## 1年に2～3回程度のお手入れと点検

### ■漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

#### ①テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

#### ②必ず電源レバーを「入」に戻す



#### ⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

### ■逃し弁の点検 (P9)

動作点検と水漏れ点検を行います。

#### 〈動作点検〉

レバーを上げて逃し弁を開き、水(お湯)が排水口から出ることを確認する

水(お湯)が出れば正常です。水(お湯)が出ない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店へご連絡ください。動作確認後は必ずレバーを下げてください。

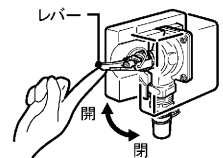
#### 〈水漏れ点検〉

わき上げをしていないとき(リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき)、排水口から水(お湯)が出ていないかを確認する

水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

お願い

●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)



#### ⚠警告

点検時は、配管に手を触れない(やけどの原因)

#### ⚠注意

逃し弁の点検をするタンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

### ■配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

お願い

●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

#### ⚠注意

配管を点検するマンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

### ■タンクのお手入れ

お願い

●わき上げ中(リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき)は行わないでください。  
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店へご連絡ください。(有償)

#### ①給水配管専用止水栓を閉じる

#### ②逃し弁を開く

#### ③排水栓を約1～2分間開く

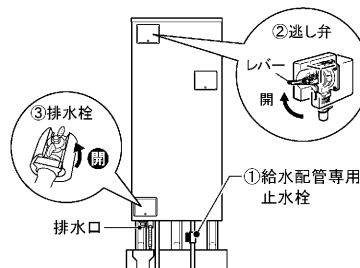
タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

#### ④汚れがなくなったら排水栓を閉じる

汚れが多い場合は、数回繰り返します。

#### ⑤給水配管専用止水栓を開く

#### ⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁を閉じる



わき上げ中の表示



#### ⚠警告

排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

# 故障かな？

## こんなときは故障ではありません

### ■貯湯タンクユニットの排水口からお湯(水)や湯気が出ています

わき上げ中は、水がお湯になるときに体積が増える分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。ただし、リモコンに「わき上げ中」の表示がないときは弁類の故障が考えられます。

### ■わき上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水が出ています

運転中はフィンが結露し、ドレン口から少量(1時間に約1L程度、温度や湿度により変化します。)の水が出る場合がありますが故障ではありません。

### ■夜間時間帯になっても、すぐにわき上げを行わない(ヒートポンプユニットが動いていない)

給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークシフト機能)

### ■設定したわき上げ温度までわき上がらない

以下のことを行くと、設定したわき上げ温度までわき上がらない場合があります。また、配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。

- ①リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合
- ②わき上げモードの設定をかえた場合  
(「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」)
- ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合  
●給水水温…10℃以下 ●残湯量……20L未満
- ④外気温度が低い場合  
外気温度がマイナス10℃以下になると、わき上げ温度を自動的に約65℃に調整します。(機器の保護のためです。リモコンでのわき上げ温度設定に関係なく低く調整します。)

### ■お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

### ■浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽や洗面部材などが青くなる場合がありますが異常ではありません。

### ■ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す

気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。

### ■昼間にヒートポンプユニットが動く

今までの使用湯量を考慮して、必要に応じ、わき増し運転をしています。

### ■わき上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる 冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

### ■運転停止を設定していてもヒートポンプユニットが動く

### ■運転モードを「深夜のみ」に設定していても昼間にヒートポンプユニットが動く

外気温度が低下すると、自動で凍結予防のための運転を行います。

### ■満タンスイッチを押しても、わき上げを開始しない

タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定すると、タンク内のお湯が50L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。

### ■お湯を使っていないのに残湯量表示が消える

自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。(P19▶)

### ■リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する

時刻を合わせ直してください。(P12▶)

### ■お湯から油がでる、お湯が臭い

初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は、P22(P10)の手順によりタンク内の湯を入れかえてください。

# 故障かな？(つづき)

## リモコンにユーザーメッセージ または エラーが表示された場合の処置

リモコンにユーザーメッセージやエラーが表示された場合は、以下の処置をしてください。

	表 示	原因(症状)	処 置
ユーザーメッセージ	U00	給湯機の給水口にお湯が供給されています。本機は給水口からの水とタンク内のお湯を混合して適温のお湯を給湯しています。給水口からお湯が供給されると、温度制御が正常に作動しません。	給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(P30)へご連絡ください。
		給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。	給水配管専用止水栓(P11)を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。
		断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。	断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(P30)へご連絡ください。
エラー	H03	給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。	据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
	H11	貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。	据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。(わき上げは行います。)
	その他の表示(E00)など	給湯機の点検が必要です。	200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(P30)へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」(P30)へご相談ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
リモコンの表示部が点灯しない (電源が入らない)	200V電源ブレーカーが「切(OFF)」になっている	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切(OFF)」になっている	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にしてください。再度「切(OFF)」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	給水配管専用止水栓が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している (蛇口から水がでますか?)	断水が終るまで待ってください。
	配管が凍結している	凍結していた場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯がわかない お湯が足りない	「深夜のみモード」で使用している	通常モードに設定してください。(P16)
	リモコンが接続されていない	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	時刻が設定されていない(リモコンの時刻表示部が点滅している)	時刻を設定してください。(P12)
	リモコンの停止日数が表示されている	停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。 (停止日数の解除 P21、満タンわき増し P17)
	電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	わき上げ湯温が低い	「少なめ」の場合は「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口からお湯(水)がでている。	逃し弁の点検を行なってください。(P26) 逃し弁が正常でもお湯(水)が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されているときに、お湯をたくさん使用した(特に夜間時間帯)	満タンわき増し(P17)を利用してください。
いつもに比べてお湯をたくさん使用した	満タンわき増し(P17)を利用してください。 翌日の使用湯量が多くなると予測できるときは、あらかじめわき上げ湯温の設定を上げてください。	
排水口からお湯(水)が出ている	リモコンに「わき上げ中」の表示がないときは、逃し弁、減圧弁または缶体保護弁等の故障です。	逃し弁の点検を行なってください。(P26) 逃し弁が正常でもお湯(水)が出ている場合は、減圧弁や缶体保護弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されている	わき上げ中は体積が増えた分のお湯が、少しずつ排水されます。正常動作です。
浴槽や洗面器等に青い線がつく	湯垢と銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したものです。	台所用の油污れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯垢がつかないようにすれば防止できます。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」(P30)へご相談ください。

「かんたん」

# アフターサービス

## ■保証書(添付)

保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。)

据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間…お買上げ日から2年間です。ただし、熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

## ■補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の製造打ち切り後10年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店がお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(右一覧表)へご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

「故障かな?」(P27)にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

ご連絡いただきたい内容

- 品名 : 三菱 自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機
- 形名 : 貯湯タンクユニットの前面カバーに表示してあります。(P9)
- お買上げ日 : 年月日
- 故障の状況 : できるだけ具体的に
- お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号・訪問希望日

## 三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内 (家電品)

修理・取扱いのご相談は  
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ  
ご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

## ■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
  - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - 法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

## 修理窓口 電話受付 : 365日24時間

### 北海道地区

札幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	帯広 (0155) 35-3111 帯広市西15条南 14-1
旭川 (0166) 26-5580 旭川市曙1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北見 (0157) 25-7045 北見市並木町 500-5	小樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函館 (0138) 49-0345 函館市西桔梗町 589-57

**修理窓口** 電話受付：365日24時間

**東北地区**

青森 (017) 773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184	秋田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
弘前 (0172) 32-6535 弘前市大字青山 4-20-3	横手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2
八戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8	大館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
盛岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	山形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
水沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3	鶴岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
仙台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23	郡山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2	会津 (0242) 27-4426 会津若松市天寧寺町 3-7
石巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-268	原町 (0244) 24-2842 原町市桜井町 1-173
古川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1	いわき (0246) 26-1822 いわき市小島町 1-2-2

**関西・東海・北陸・中国・四国地区**

大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県  
 京都府・滋賀県・愛知県・三重県・岐阜県  
 静岡県・長野県（飯田地区）・石川県  
 富山県・福井県・広島県・山口県・島根県  
 鳥取県・岡山県・香川県・徳島県・高知県  
 愛媛県

フロントセンター関西  
 大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル  
**☎0120-56-8634**

通常電話番号（携帯電話対応）  
**(06) 6454-3901**

FAX  
**(06) 6454-3900**

**関東・甲信越地区**

東京都・神奈川県・千葉県  
 茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県  
 山梨県・長野県（飯田地区除く）・新潟県

フロントセンター東京  
 東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル  
**☎0120-56-8634**

通常電話番号（携帯電話対応）  
**(03) 3424-1111**

FAX  
**(03) 3424-1115**

**九州地区**

福岡 (092) 412-5333 福岡市博多区東那珂 3-1-21	熊本 (096) 380-0211 熊本市石原 1-10-35
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区昭和 2-5-25	八代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
佐賀・久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20	大分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
唐津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50	宮崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田 150-1
長崎 (095) 834-1116 長崎市丸尾町 4-4	延岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市木原町 155-1	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
	沖縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

**ご相談窓口**

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

**三菱電機お客さま相談センター**

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間 365日 24時間

全国どこからでも おかけいただけるフリーコール  
**☎ 0120-139-365 (無料)**  
いつもサンキュー 365日

通常電話番号（携帯電話対応） **03-3414-9655**  
 FAX **03-3413-4049**

ご相談対応 平日 9:00~19:00  
 土・日・祝 9:00~17:00  
 上記以外の時間は受付のみ可能です。

所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

KO5A

# 仕様

形名	セット	SRT-HP374	SRT-HP374D	SRT-HP464	SRT-HP464DM
	ヒートポンプユニット	SRT-HPU454	SRT-HPU454	SRT-HPU604	SRT-HPU604
	貯湯タンクユニット	SRT-HPT374	SRT-HPT374D	SRT-HPT464	SRT-HPT464DM
適用電力制度		時間帯別電灯通電制御型			
種類 (設置場所)		屋外型 (貯湯タンクユニットのみ屋内設置可)			
タンク容量		0.37m <sup>3</sup> (370L)		0.46m <sup>3</sup> (460L)	
定格電圧・周波数		単相 200V (50/60Hz共用)			
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力※2※3	4.5kW/0.99kW		6.0kW/1.33kW	
	夏期加熱能力/消費電力※2※4	4.5kW/0.97kW		4.5kW/0.96kW	
	冬期加熱能力/消費電力※2※5	4.5kW/1.16kW		6.0kW/1.62kW	
	冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※6	4.5kW/1.50kW		6.0kW/1.98kW	
凍結防止ヒーター		0.024kW (3°C ON, 7°C OFF)			
制御用		0.02kW			
最大電流		16A		18A	
わき上げ温度		約65°C~約90°C			
寸法	ヒートポンプユニット (高さ×幅×奥行)	640 × 820 (+80 <sup>*</sup> ) × 300mm ※配管カバー寸法		650 × 820 (+80 <sup>*</sup> ) × 300mm ※配管カバー寸法	
	貯湯タンクユニット (高さ×幅×奥行)	1860 × 630 × 730mm		2200 × 630 × 730mm	1800 × 700 × 795mm
質量	ヒートポンプユニット	約62kg		約62kg	
	貯湯タンクユニット	約80kg (満水時約450kg)		約90kg (満水時約550kg)	
運転音※7		38dB		40dB	
最大使用圧力		190kPa (逃し弁設定値)			
冷媒名 (封入量)		CO <sub>2</sub> (1.15kg)			
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁			
リモコン (別売)		RMC-HP4 (外形寸法: 縦 132mm 横 140mm 厚さ 22mm)			

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※2 わき上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※3 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 16°C/12°C、水温17°C、わき上げ温度65°C

※4 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 25°C/21°C、水温24°C、わき上げ温度65°C

※5 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7°C/4°C、水温9°C、わき上げ温度65°C

※6 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7°C/6°C、水温9°C、わき上げ温度90°C

※7 定格条件下での測定 (JISのルームエアコンディショナに準じ測定)。

運転音は、実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなります。

※3、4、5、6、7について

●外気温: 理科年表、月別平均気温・湿度 (1961年から1990年までの平均値)

●水温: (社)ソーラーシステム振興協会「ソーラーシステムの設計基準に


関する調査研究」(昭和57年9月)

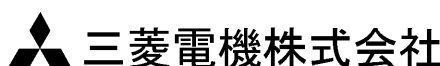
●いずれも東京・大阪の季節別環境条件です。

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、貯湯タンクユニット内で水漏れが起こった時、貯湯タンクユニットへの給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。(タンク内に貯まっているお湯(水)までストップするものではありません。)

製品形名 (製造番号)	SRT- < >	据付工事店 (販売店) の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-HP4	
お買上げ日	年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

	<p>★長年ご使用の給湯機の点検を!</p>	<p>●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。</p>
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●設置場所が濡れている。</li> <li>●お湯が早くなる。</li> <li>●時々漏電遮断器がはたらいた。</li> <li>●その他の異常や故障がある。</li> </ul>	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理 (有料) をご相談ください。</p>



群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800  
電話番号 0276-52-1111 (代表)